

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方に関する検討について

●教育再生実行会議及び中央教育審議会における検討

◇中央教育審議会において、新しい時代の初等中等教育の在り方を検討。

- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、新時代を支える学びの環境整備の在り方も含めて議論。令和3年1月、答申取りまとめ。

◇教育再生実行会議において、ニューノーマルにおける新しい学びの在り方等を検討。

- ・ICTの本格的導入を含めニューノーマルにおける新たな学びの在り方、感染症対策、ICTの本格的導入のための指導體制や環境整備の在り方（少人数によるきめ細かな指導體制の計画的整備を含む）について議論。令和3年5月頃、提言取りまとめ予定。



一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、
新しい時代の学校施設の在り方を改めて議論し
「令和時代の学校施設スタンダード」を積極的に推進していく必要



●学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議において新たなテーマとして検討

(検討事項案)

◇新しい時代の学びを実現するための学校施設の在り方について

- ・少人数による指導體制への対応を含む個別最適な学びと協働的な学びを実現する施設環境の整備
- ・多様な学習活動に対応する施設環境の整備
- ・新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備
- ・人口動態等を踏まえた既存施設における効率的・効果的な施設環境の整備

◇上記の在り方を踏まえた推進方策について

- ・先導的モデル研究を通じた新たな学校施設モデルの提示、財政支援制度の充実、整備指針の見直し、好事例の横展開、普及促進など

(検討体制及び検討スケジュール)

- ・令和3年1月の協力者会議において「新しい時代の学校施設検討部会」を設置
- ・同年2月、同部会の第1回を開催し、以降集中的に検討
 並行して先導的モデル研究を委託実施し、適時進捗を検討に反映
- ・同年7月、概算要求に関わる方策について報告を取りまとめ
- ・令和4年3月、最終報告を取りまとめ
 その後、学校施設整備指針の改訂等に反映